

扶桑町教育委員会事務点検評価報告書

(令和6年度事業)

令和7年8月

扶桑町教育委員会

扶桑町教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、令和6年度における扶桑町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめましたので、議会に提出するとともに公表します。

扶桑町教育委員会委員名簿

（令和7年7月1日現在）

教 育 長	澤 木 貴美子
教育長職務代理者	千 田 まち子
教 育 委 員	江 口 夏 世
教 育 委 員	千 田 正 仁
教 育 委 員	熊 崎 規 恭

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. 点検及び評価の目的	1
2. 点検及び評価の対象	1
3. 点検及び評価の方法	1
4. 点検及び評価の経過	1
5. 評価項目	2
6. 事業の内容及び評価	3
7. 令和6年度扶桑町教育委員会の事務の点検及び評価のまとめ	17

1. 点検及び評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

また、点検及び評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

このため、点検及び評価の対象は、令和6年度事業とし、その報告書を議会へ提出するとともに、扶桑町ホームページで公表します。

点検及び評価については、次のような対象及び方法で行いました。

2. 点検及び評価の対象

第5次扶桑町総合計画後期基本計画で示された「施策」を中心に、各課で実施した主要な事業を対象としました。

3. 点検及び評価の方法

点検及び評価の客観性を確保するために、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとし、学識経験者の意見を参考にしながら、教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行いました。

外部評価委員

委員長 教育長 澤木貴美子

学識経験者 小室明正・倉橋伸子

※扶桑町教育委員会外部評価委員会設置規則第3条及び第5条に基づきます。

4. 点検及び評価の経過

第1回委員会 令和7年7月24日（木）

点検（資料説明及び質疑応答）

第2回委員会 令和7年8月 8日（金）

評価及び総評

5. 評価項目

第5次扶桑町総合計画後期基本計画の概要（該当部分のみ抜粋）

<まちづくりの視点>みんなの笑顔が かがやくまち 扶桑町

基本目標2 みんなで“学び育む” ～次代と豊かな心を育むまちづくり～

施策6 学校教育

- 施策6-1 教育環境の整備
- 施策6-2 学校保健・学校給食の充実
- 施策6-3 教育内容の充実
- 施策6-4 児童・生徒への支援の充実

施策7 家庭教育・青少年育成

- 施策7-1 青少年の健全育成
- 施策7-2 家庭教育の充実

施策8 生涯学習

- 施策8-1 生涯学習機会の充実
- 施策8-2 スポーツの普及促進・推進体制の充実
- 施策8-3 生涯学習施設等の充実
- 施策8-4 図書館の充実

施策9 文化・芸術

- 施策9-1 次世代へつなぐ文化の創造
- 施策9-2 地域文化の担い手の発掘と仕組みづくり
- 施策9-3 文化・芸術活動への支援体制
- 施策9-4 文化財の保護と活用

6. 事業の内容及び評価

施策指標名の前に「○」印がついた指標についての評価となります。

施策指標名の後に「※」印がついた事業は、第5次扶桑町総合計画後期基本計画の「施策指標」に示されていませんが、重要な指標となります。

施策6 学校教育

施策6-1 教育環境の整備（学校教育課、生涯学習課）

事業の目的	<p>環境配慮やバリアフリー化など社会的要請に適切に対応するため、小・中学校校舎の非構造部材の改修、体育館の大規模改修など計画的に実施するとともに、長寿命化計画により適切な維持管理に努め、教育施設に求められる機能・性能を維持していきます。</p> <p>コミュニティ・スクール（学校運営協働協議会）を推進し、「地域とともにある学校づくり」に努めます。</p> <p>保護者の負担軽減のために、就学援助制度や私学助成制度、小中学校児童生徒第3子以降の給食費の無償化を実施します。</p> <p>町民聴講生制度により、町民が児童・生徒とともに授業を受ける場を提供します。</p>
施策指標	<p>○学校運営協働協議会 ○施設の維持管理 ※</p> <p>○地域学校協働本部 ※</p>
事業内容及び実績評価	<p>児童生徒の保護者及び地域住民等と協働して、学校運営の改善や児童生徒の健全育成について取り組むため学校運営協働協議会委員を委嘱し、各小中学校で協議会を3回開催しました。また、地域学校協働本部の活動として、推進会議を2回、情報交換会を3回開催し、地域住民等と学校との情報の共有を図りました。</p> <p>学校施設環境改善交付金を活用し、柏森小学校非構造部材耐震化改修工事及び高雄小学校体育館等大規模改修工事を実施しました。また、扶桑北中学校非構造部材耐震化改修工事の設計を行い、継続的な教育環境の整備に努めました。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>地域学校協働本部と共に、より多くの地域住民、団体等に参画いただき、学校と地域が協働して取り組む推進体制を構築する必要があります。</p> <p>今後もより安全で安心な教育環境の実現に向けて、施設整備や計画的な改修に努めます。</p>
外部評価委員評価	<p>長寿命化計画に基づき進められている学校施設の適切な維持管理やバリアフリー化など安心・安全な環境整備を計画的に進めつつ、少子化に対応する適切な学校配置等の検討及び準備対策を進めてください。また、保護者負担の軽減が求められている中、各種支援を継続・強化してください。</p> <p>また、施策指標となっている学校運営協働協議会の活動については、情報の共有化を図り、保護者・地域・学校が一体となって、地域の特色を生かした学校運営や児童・生徒の健全育成に努めてください。</p>

施策6-2 学校保健・学校給食の充実（学校教育課）

事業の目的	<p>児童・生徒に対する学校保健事業及び食育推進事業を実施し、食物アレルギーを有する児童・生徒に対するきめ細やかな対応を心がけ、発育に即した安心でおいしい学校給食を提供します。</p>
施策指標	<p>○「わが家の味を給食に」献立募集 ○食物アレルギー対応※ ○食育推進事業※</p>
事業内容及び実績評価	<p>応募献立の開催時期を子どもたちが参加しやすいように冬から夏へと変更しました。応募件数は62件で入賞作品10点を選定しました。この入賞作品の献立を学校給食で採用しています。 食物アレルギー児童生徒20名に対応食を提供しました。 食育推進事業として親子料理教室を実施し、親子27名が参加しました。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>応募献立の応募件数が少なくなったが献立の内容が良くなっている。今後は募集方法で記入例を入れて参加しやすいように改善を検討していきます。 食物アレルギーの対応は、食物アレルギーを含む場合に提供するか提供しないかの選択へ変更しました。</p>
外部評価委員評価	<p>現状、きめ細やかな保健・食育事業が実施されています。アレルギー対応食は大変難しい取り組みですが、児童生徒の命にも関わるものです。今後も、すべての子ども達への安心・安全な給食の提供に努めてください。 また、わが家の味を給食に！献立募集事業については、親子料理教室とともに、児童・生徒のみならず保護者も興味を持ち、日常の食育推進に繋がるように充実してください。</p>

施策6-3 教育内容の充実（学校教育課）

事業の目的	<p>児童・生徒の資質・能力の育成に向けて、ICTを最大限活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指します。「子どもに学びを委ねる」を目指し、教員相互の研修を深め、教育の質の向上を図ります。</p> <p>総合的な学習等で、まちについて探求するカリキュラムマネジメントに努め、町の未来を考える児童・生徒を育てます。</p> <p>外国語教育、防災・防犯教育の一層の充実を図ります。</p>
施策指標	○ICT活用計画の目標達成アンケート
事業内容及び実績評価	<p>小中学校に対して、活用計画目標達成状況調査を行いました。概ね目標は達成していたが、小学校中低学年では難易度が高いと感じている回答もみられました。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>教職員と児童生徒のどちらかだけでなく、双方の習熟度を共に向上させる必要がある。授業での活用だけでなく、あらゆる場面での有効活用を模索し続けます。</p>
外部評価委員 評価	<p>これまで本町では児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を目指し、授業改善・教員研修の充実、ICTの活用等教育システムの充実・改善に努め、成果を上げられました。こうした実践は、地域住民からもよい評価を得ています。</p> <p>一方、全国学力テストの結果から一部教科での学力の低下が話題になりました。要因として、コロナ禍での学び方の変化や学び時間の減少が指摘されています。</p> <p>今後は、こうした課題を整理し、ICTの更なる活用とともに、教科及び総合的な学習等の更なる授業改善に努め、あわせて適宜目標達成状況の調査を行い、評価・改善を図りながら、一層の充実に努めてください。</p>

施策6-4 児童・生徒への支援の充実（学校教育課）

<p>事業の目的</p>	<p>「こころの教育」に努め、心身ともに健全な児童・生徒の育成を目指すとともに、扶桑町いじめ防止基本方針（平成27年（2015年）1月制定）に基づき、関係する機関が連携を図り、いじめの早期発見・防止に努めます。</p> <p>不登校・いじめ・貧困等の課題については、児童・生徒のおかれた様々な環境に働きかけ、問題を抱える児童・生徒やその家庭への支援を行うため、スクールソーシャルワーカーやスクールメンタルサポーターを配置します。</p> <p>児童・生徒数の多い学校に対する養護教諭の加配や、支援が必要な児童・生徒に対しては、特別支援員・医療的ケア支援員を配置し、きめ細やかな支援に努めます。</p> <p>特別に支援が必要な児童・生徒の就学について、保育園・幼稚園との連携を図り、保護者の理解と協力を得ながら適正な教育支援の充実に努めます。</p> <p>教員がゆとりをもって、一人ひとりの子どもに向かい合い、質の高い授業や個に応じた指導ができるように、部活動の地域移行、地域学校協働活動による学校支援などに取り組みます。</p>
<p>施策指標</p>	<p>○こころの電話等の相談事業 地域移行した部活動のクラブ数 学校支援ボランティアの数</p>
<p>事業内容及び実績評価</p>	<p>課題を抱える児童・生徒及びその家庭の置かれた環境に働きかけ、課題の解決を目指し、スクールソーシャルワーカーを1人増員し2人・スクールメンタルサポーターを1人配置しました。</p> <p>活動件数1872件（延べ数）・支援人数188名</p>
<p>課題及び今後の取組みの方向性</p>	<p>複雑かつ多岐に亘る課題の解決に向け、今後も関係機関等とより綿密な情報交換・行動連携に取り組み、体制の充実を図ります。</p>
<p>外部評価委員 評価</p>	<p>学校のみならず家庭に係る問題から支援を求める児童・生徒が増えています。幸い本町では、手厚い支援体制が構築され、成果も上がっています。</p> <p>価値観や社会情勢の変化に伴い、問題も複雑多岐に渡り、様々な要請が出てくると思いますが、今後も、一人ひとりの子どもに充実した支援を継続してください。</p>

施策7 家庭教育・青少年育成

施策7-1 青少年の健全育成（生涯学習課）

<p>事業の目的</p>	<p>青少年の健全な発達を阻害するおそれのある非行や被害防止のために、学校、家庭、地域と日常的に連携して、青少年が健やかに成長できる土壌づくりを行います。</p> <p>関係行政機関の職員や学識経験者の意見を取り入れながら普及啓発活動を推進します。</p> <p>また、子ども会活動を通じて子どもの健全育成を図るための諸活動を支援します。</p>
<p>施策指標</p>	<p>青少年問題協議会 ○子ども会活動育成事業</p>
<p>事業内容及び実績評価</p>	<p>子どもの連帯意識を高め、地域に根ざした活動が展開できる組織づくりに努めました。</p> <p>単位子ども会 33団体 会員数 1,583人 補助金額 963,200円</p> <p>扶桑町子ども会連絡協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会決勝大会 6月23日 出場10チーム ・夏のイベント「マジックショー&マジック教室」8月18日 来場者59名
<p>課題及び今後の取組みの方向性</p>	<p>子ども会活動については、扶桑町子ども会連絡協議会を中心としてスポーツイベントなどを継続して実施することにより、子どもたちの健全な育成に努めていきます。</p>
<p>外部評価委員評価</p>	<p>少子化の中、子ども会活動は子ども達の縦の繋がりを深め、保護者も親同士の横の繋がりを形成でき、親子ともども社会性を深めることができます。同時に、子ども会活動を通して、子ども達と地域との関わりも太くすることができています。</p> <p>子どもの健全育成には、家庭の教育力とともに、地域の幅広い人々の助力・支援や地域に根ざした様々な取組が大きな支えになります。</p> <p>引き続き、本活動が幅広く展開できるよう、適切な支援に努めてください。</p>

施策7-2 家庭教育の充実（生涯学習課）

事業の目的	<p>心身ともに健全な子どもを育てるため、よりよい家庭教育のあり方を求め、地域ぐるみの家庭教育の推進や、家庭の日の普及・啓発を図っていきます。</p> <p>子ども会連絡協議会と連携し、家庭教育推進事業として講演会を定期的開催し、家庭教育の普及・啓発を行います。</p>
施策指標	○子育てを応援する講座・講演会
事業内容及び実績評価	<p>子ども会連絡協議会と共催し、子どもからお年寄りを対象とした健全な家庭環境づくりをテーマとする家庭教育推進事業講演会を実施しました。</p> <p>開催日 1月19日 入場者数 70名 演題 「『目からウロコが落ちる』科学実験2」 講師 元理科教員 小川 仁史 氏</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>定員50組のところ、30組の申し込みがありました。終了後も実験を楽しむ親子の姿が見られました。今後においても魅力ある家庭教育を学ぶ機会を設けていきます。</p>
外部評価委員評価	<p>子どもの健全育成の基本は家庭教育にあるとも言われます。核家族化、少子化の中、親同士の横の繋がりや地域ぐるみによる家庭教育の推進には大きな意味があります。</p> <p>子育て世代の考え方や教育観も多様になっていますが、子育て支援講座の開設や、講演会、親子で参加できる取り組みは、親にも一つの学びのきっかけになります。</p> <p>目先の参加者数にとらわれず、幅広く、多様な機会を設けてください。</p>

施策8 生涯学習

施策8-1 生涯学習機会の充実（生涯学習課）

事業の目的	<p>文化活動に親しみ、芸術鑑賞や創造活動に接する機会を確保するとともに、公民館で各種講座を開催し、生涯学習の機会の充実に努め、講座受講者が学習成果を発揮できるよう支援をします。</p> <p>文化協会に所属する会員相互の教養を深め、地域文化の発展を目的として、芸術、芸能等の文化振興の寄与に努めます。</p>
施策指標	○各種年代が参加できる講座
事業内容及び実績評価	<p>生涯学習講座</p> <p>親子で参加できるものから、高齢者に人気のあるスマホの使い方講座等、多彩な講座に前期講座14講座 283名・後期講座14講座 296名の計28講座、579名が受講しました。</p> <p>文化祭活動発表会</p> <p>10月26日、11月3日 扶桑文化会館</p> <p>民謡・詩吟・合唱・ダンス・楽器演奏等の活動発表</p> <p>10月26日～27日、11月2日～3日 中央公民館</p> <p>短歌・書・手芸品・写真などの作品展示</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>今後も各講座において、幅広い年齢層に受講していただけるような、魅力のある企画を立案していきます。</p>
外部評価委員評価	<p>これまでも各種世代が参加できる講座が開設され、多くの参加が得られています。</p> <p>今後も、子どもの講座、親子で参加できる講座など、さらに参加者の幅を広げる講座の開設や、プログラミングやドローン操縦など時代の先端を行く魅力ある講座を引き続き開催し、一層の充実に努めてください。</p>

施策 8-2 スポーツの普及促進・推進体制の充実（生涯学習課）

事業の目的	<p>スポーツ推進委員、スポーツ協会、スポーツ協力員、総合型地域スポーツクラブ「特定非営利活動法人わっと楽しくスポーツふそふ」と協力・連携しながら、町民が日常的にスポーツ・運動を行える機会を作ります。</p>
施策指標	<p>スポーツ協会加盟団体数 ○総合型地域スポーツクラブ等での部活動運営</p>
事業内容及び実績評価	<p>指導者バンクの立ち上げ、指導者・補助員を対象とした研修会を実施し、各中学校の部活動の形は変えず、地域指導者による専門的な指導を12部活動で開始しました。</p> <p>扶桑中学校、扶桑北中学校の両校で開始した部活動 バレーボール部女子、剣道部、サッカー部、 バスケットボール部男子</p> <p>扶桑中学校のみで開始した部活動 ソフトテニス部女子、卓球部女子、吹奏楽部</p> <p>扶桑北中学校のみで開始した部活動 ソフトボール部女子</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>中学校の部活動の段階的な移行を行いながら、部活動にはなかった新たな地域クラブの設立や、合同部活動など多様な世代が参加し、楽しく交流できるスポーツ・文化活動の場を目指します。</p>
外部評価委員評価	<p>各中学校の部活動の形を変えない移行は着実に進んでいるようですが、平日の学校での指導への地域指導者の参加にはまだまだ課題も多いようです。</p> <p>新たな地域クラブの設立や中学校の合同部活動の設立など、様々な手立てを講じながら、新しい部活動の展開に努めてください。</p>

施策 8-3 生涯学習施設等の充実（生涯学習課）

事業の目的	施設の老朽化に伴う計画的な改修の実施や再編を検討し、利用しやすい施設の維持・管理に努めます。
施策指標	○施設の改修及び再編
事業内容及び実績評価	<p>安全に施設を利用できるよう、必要に応じて施設、備品の修繕を行いました。長期事業計画に沿って、計画的な維持管理に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館 動力トランス取替工事・図書館 全熱交換器取替工事 ・文化会館 電気設備改修工事・総合体育館 浄化槽改修工事
課題及び今後の取組みの方向性	老朽化により修繕の必要箇所が増加しています。定期的に保守点検等を行い、修繕箇所の把握に努めます。必要に応じて適切な修繕及び改修を行います。
外部評価委員評価	施設・設備の老朽化が進んでいるようですが、安全に利用できるよう適切な修繕に努めてください。高齢化が進む中、施設の利用の機会やあり方にも、大きな変化が出てくるかと思いますが、町民が安心して利用できる施設の在り方や運営を考え、健全な施設の維持・管理に努めてください。

施策 8-4 図書館の充実（生涯学習課）

事業の目的	<p>図書や資料の充実、インターネットを利用した図書の予約や蔵書の検索・利用状況の確認、レファレンス室でのタブレット利用などサービスの拡充を図ります。</p> <p>定期的・日常的に図書館ボランティアの意見を聴き、協働していきます。</p> <p>また、子育て支援等の社会的ニーズにも応えられる図書館に努めます。</p>
施策指標	○子育て支援等の教室の開催回数
事業内容及び実績評価	<p>「あかちゃんくらぶラッコルーム」「あかちゃん絵本読み聞かせ会」「おはなし」と「あそび」の広場」を職員もしくはボランティアで毎週開催し、合計151回実施しました。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>参加人数が少ない日もあるので、継続して参加してもらえるよう工夫したり、開催日を周知をしていきます。</p>
外部評価委員評価	<p>今後とも図書館の蔵書・資料の充実、利用方法の改善に努めてください。</p> <p>また、図書館ボランティアグループと協力し、子どもや親子が楽しめる企画を進めてください。毎週開催されている幼い子供が本に親しむ読み聞かせ会等は参加者の減少がみられるようですが、図書館としての特色やボランティアの力を生かし、教室運営を工夫し継続してください。</p>

施策9 文化・芸術

施策9-1 次世代へつなぐ文化の創造（生涯学習課）

事業の目的	<p>扶桑文化会館の特性を生かし、伝統芸能など質の高い芸術・文化公演・展示会を企画して、次世代を担う子供たちへ鑑賞や体験の機会を作るよう努めます。</p> <p>「文化の香り高いまち」を実現するため、ボランティアとの協働により幅広い年齢層の方が参加できる催事を企画していきます。</p>
施策指標	<p>○自主事業来館者数</p> <p>○学校単位の児童・生徒舞台公演鑑賞事業開催数</p>
事業内容及び実績評価	<p>ふそう文化大学 公演回数 4回、入場者数 1,076名 各界の著名な方々を招き、お話と実演等を交えた公演を行いました。</p> <p>コンサート 公演回数 3回、入場者数 616名 多様なジャンルのコンサートを開催し、多くの方が音楽に親しめる機会を設けました。</p> <p>伝統芸能 公演回数 7回、入場者数1,791名 歌舞伎、狂言等、質の高い文化芸術を鑑賞していただきました</p> <p>児童・生徒公演鑑賞事業 公演回数 2回 扶桑東小学校4～6年生 164名 高雄小学校4～6年生 284名 扶桑文化会館で音楽公演を鑑賞していただきました。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>文化会館が持つ特性を最大限に活かし、質の高い文化公演を開催し、町民生活の向上と文化芸術の普及、振興につながるよう努めていきます。</p>
外部評価委員評価	<p>これまで培ってきた文化会館の経験や実績を生かし、質の高い芸術・文化公演を継続してください。</p> <p>また、子ども達がこの施設で様々な芸術・文化公演に親しむことは、大変よい体験になります。学校単位での公演鑑賞や、質の高い芸術・文化公演を更に拡充してください。</p>

施策9-2 地域文化の担い手の発掘と仕組みづくり（生涯学習課）

事業の目的	<p>地元で活躍するアーティストを発掘して町内で活躍する場を提供できるように努めます。</p> <p>子どもからお年寄りまでが神楽囃子を通じて郷土愛を育み、次世代へ継承するための活動を支援します。</p>
施策指標	<p>アーティスト派遣回数</p> <p>○神楽囃子保存会補助</p>
事業内容及び実績評価	<p>地区のお年寄りと子どものふれあいを通じて、昔から扶桑町に伝わる神楽囃子の普及・保存を図ることにより、郷土愛を育て、地区文化の向上に寄与しました。</p> <p>補助金額 564,000円（12団体）</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>各地区の後継者不足が顕著となっています。神楽囃子保存会の周知を図ることにより、継続的に活動できるよう支援します。</p>
外部評価委員評価	<p>神楽囃子保存会の活動については、地域の伝統文化の継承でもあり、各地区での活動に止まらず、文化会館での相互交流会の開催など、伝統文化継承の後押しをしてください。</p> <p>また、地元アーティストにも、相互交流の場や発表の機会の提供など、町内での活躍を広げる支援を進めてください。</p>

施策9-3 文化・芸術活動への支援体制（生涯学習課）

事業の目的	<p>ボランティア団体の自主的な文化振興活動を協働という観点から支援し、文化に接する機会の確保に努めます。</p> <p>参加者相互の交流を深めたり、スキルアップを図るために会合や研修会を開催し、新たな参加者の確保に努めます。</p>
施策指標	○外部研修実施回数
事業内容及び実績評価	<p>外部研修は実施できていませんが、内部の打合せは月1回程度行っており、ボランティア活動のスキルアップに努めました。</p> <p>ふそう文化会館夢応援団 21名 自主事業等開催時の会場案内を行いました。</p> <p>扶桑文化会館友の会 12名 自主事業の広報活動及び入場券発売初日における受付事務を行いました。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>ボランティア活動にかかる提案、相談に応じ、スキルアップや相互の交流に努めます。</p> <p>ボランティアが高齢化している現状と、若者の加入が見込まれないことが課題です。名古屋経済大学とも連携を取り、学生のボランティア参加を進めます。</p>
外部評価委員評価	<p>文化・芸術に係る学びの機会や適切な研修、打合せ会を設け、ボランティア活動の内容の充実を図り、魅力ある活動として、新たな参加者の確保に努めてください。</p> <p>大学との連携も継続しつつ、ボランティア参加も検討するなど、幅広くボランティアの発掘を検討してください。</p>

施策 9-4 文化財の保護と活用（生涯学習課）

事業の目的	<p>文化財等への理解を深めるため、町民への展示活動を行います。さらに、郷土の文化財を次世代に良好な状態で継承するために、維持管理にかかる支援を行います。</p> <p>また、文化財保護審議会を通じて文化財所有者、管理者と連携を図り、文化財の活用についての助言と連絡調整を行います。</p>						
施策指標	○文化財の保護						
事業内容及び実績評価	<p>文化財保護団体等に維持管理のための補助金を交付しました。</p> <table border="0" data-bbox="480 544 1286 633"> <tr> <td>補助金額</td> <td>14種類</td> <td>105,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>長泉塚古墳（環境整備）</td> <td>264,000円</td> </tr> </table>	補助金額	14種類	105,000円		長泉塚古墳（環境整備）	264,000円
補助金額	14種類	105,000円					
	長泉塚古墳（環境整備）	264,000円					
課題及び今後の取組みの方向性	<p>文化財を保護保全していくために、文化財保護審議会委員、管理者（所有者）や地域との連携を継続していきます。中央公民館において（仮称）文化財資料室の計画を進めており、多くの町民の方が民俗・歴史資料に触れる機会を増やしていきます。</p>						
外部評価委員評価	<p>郷土の財産である文化財を良好な状態で維持管理できるよう努めてください。</p> <p>なお、計画中の文化財資料室は、常設展示だけでなく企画展示なども工夫し、より多くの町民が学び、楽しめるものにしてください。</p>						

7. 令和6年度扶桑町教育委員会の事務の点検及び評価のまとめ

いつもと変わらない日常生活ができるようになった令和6年度、教育委員会の各種事業も感染症対策に振り回されることなく、過去の実績・評価を踏まえつつ、着実に実施されました。

外部評価委員会では、事業の内容詳細・進展状況や課題等についての説明を受け、今回から取り入れられた施策指標をベースにした事業の点検・評価を行いました。

まずは施策別の4分野の評価について報告します。

学校教育の分野については、長寿化を目指した学校施設の維持管理からICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進等、着実な実績の積み上げが見られました。また、学校運営協働協議会の取り組みも、それぞれ地域の特色を生かし、町全体で連携を図りながら進められ、確実に前進しています。

家庭教育・青少年健全育成の分野については、SNS等による問題事例が増加する状況においては、大人からの働きかけ、地域や人と人との繋がりが大きな役割を担ってきます。成果が見えにくい活動ですが、粘り強い事業展開を期待します。

生涯学習の分野に関しては、工夫した生涯学習講座や図書館活動、地域・学校と連携したスポーツの推進等、ボランティアとの連携を深めながら進められています。

生涯にわたる学びの機会や幅広い世代が集い取り組む機会の充実はとても大切です。新たな活動の創造や、工夫・改善を図りながら、一層の充実に努めてください。

文化・芸術分野については、地域の伝統文化・芸能の維持・継承を支援するとともに、郷土愛や地域文化への誇りを育む機会として、広く町民に「この町の伝統文化・遺産」の展示・広報に努めてください。

また、伝統芸能・質の高い芸術・講演など、すばらしい実績を残してきた文化会館を軸に、さらに多くの町民・とくに小中学生にこうしたものに触れる機会を積極的に設けてください。

総論として、令和6年度の教育委員会の事業については、概ね当該年度の目標を達成していると判断しました。

総合計画に指摘されているように、人口減少・少子化・高齢化や地域コミュニティの希薄化など、難しい課題への対応が求められています。

今後とも、適宜、事業の評価・改善に努め、実りある事業を展開してください。

令和7年8月8日

扶桑町教育委員会外部評価委員 小室 明 正

倉 橋 伸 子